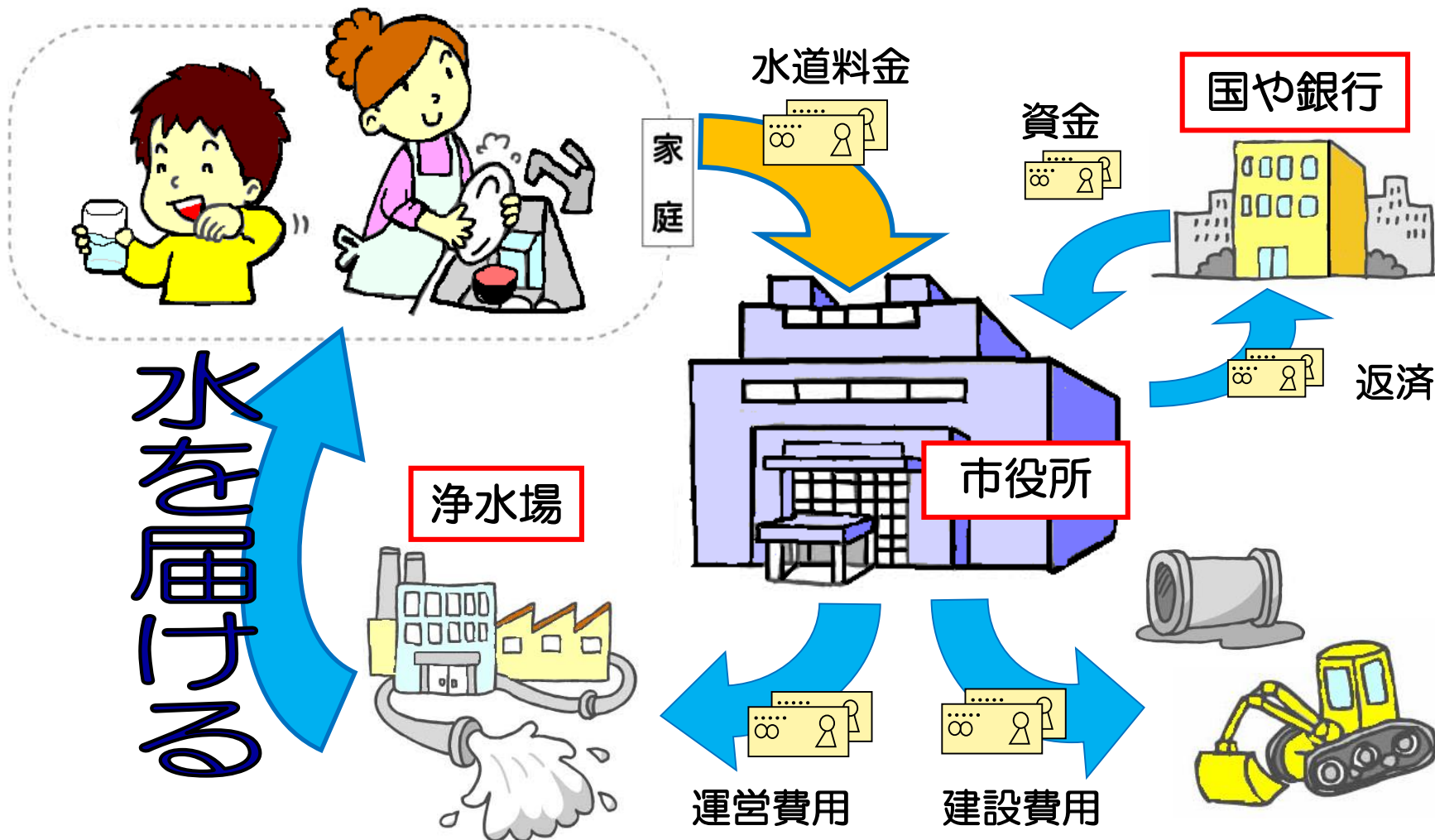


2. 水道事業の会計 について

水道事業は独立採算



◇水道事業の予算

【収益的収入及び支出（3条予算）】

「水の供給」というサービス提供に関する予算
⇒家計に例えると、給料と生活費の関係

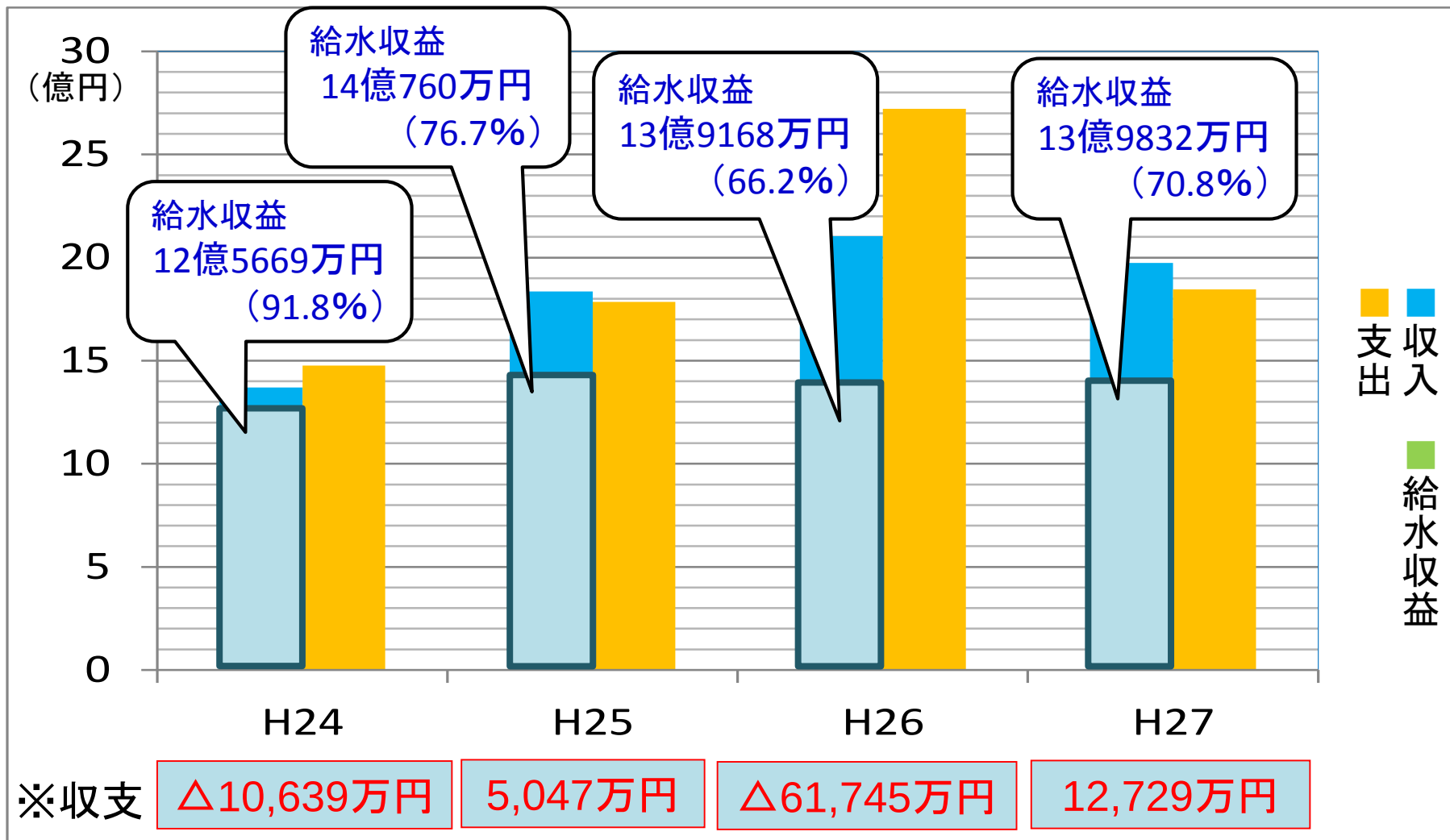
※ 1年間の経営成績を表します。

【資本的収入及び支出（4条予算）】

水を作り、送るための施設建設に関する予算
⇒家計に例えると、家を建てる費用とそのため
の住宅ローンの借入れと返済の関係

◇水道事業会計の近況と今後の見通し

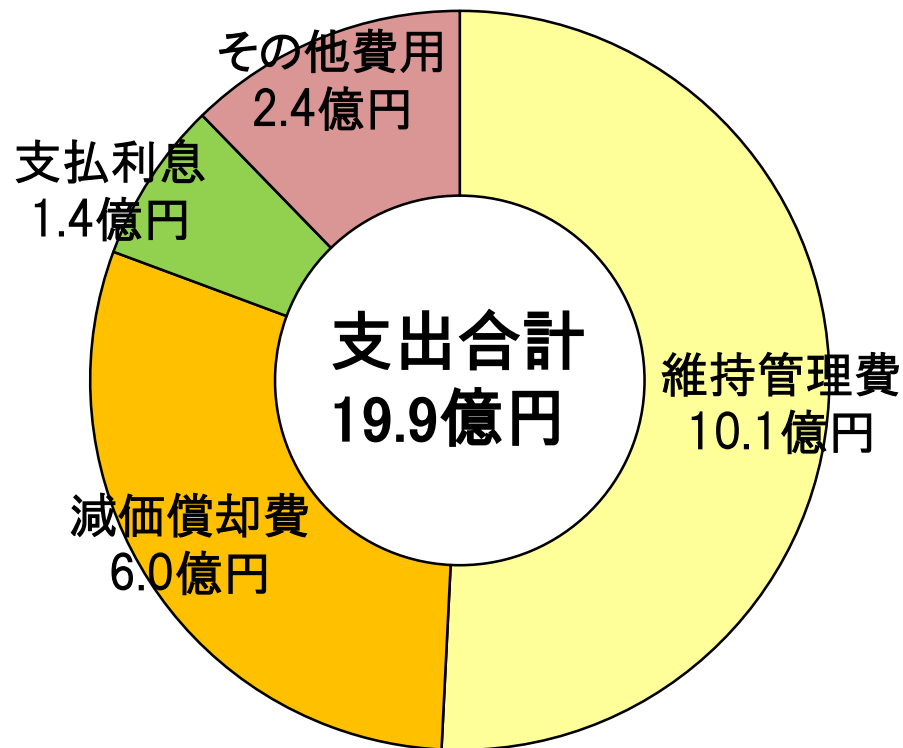
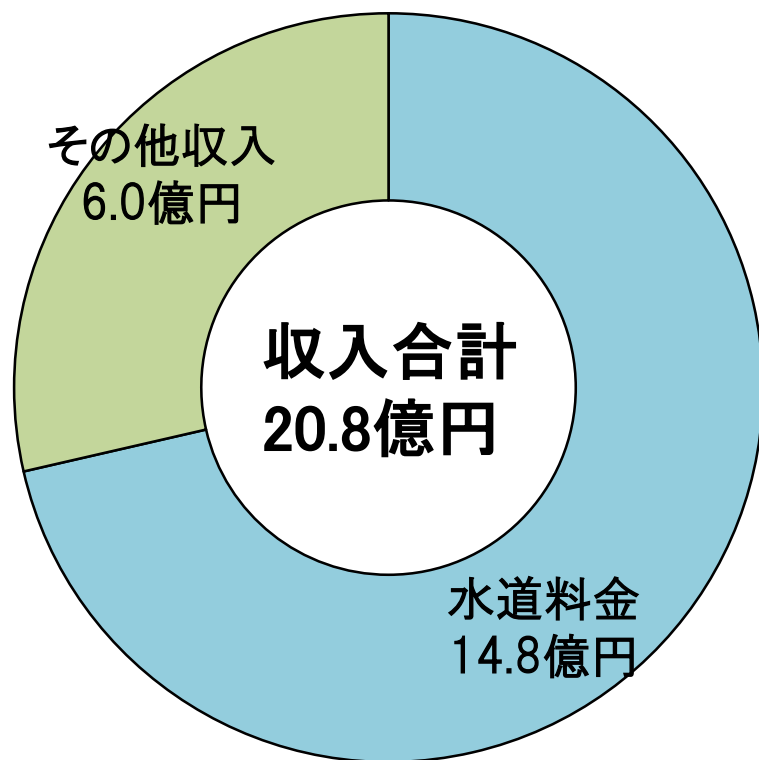
【収益的収支の決算状況】



赤字の場合は、利益積立金（貯金）で穴埋めします

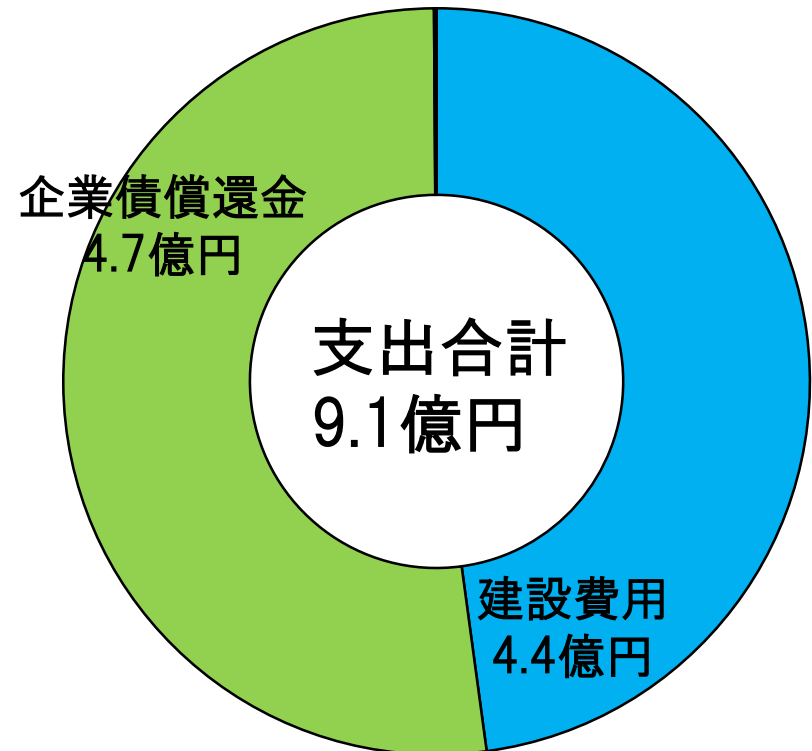
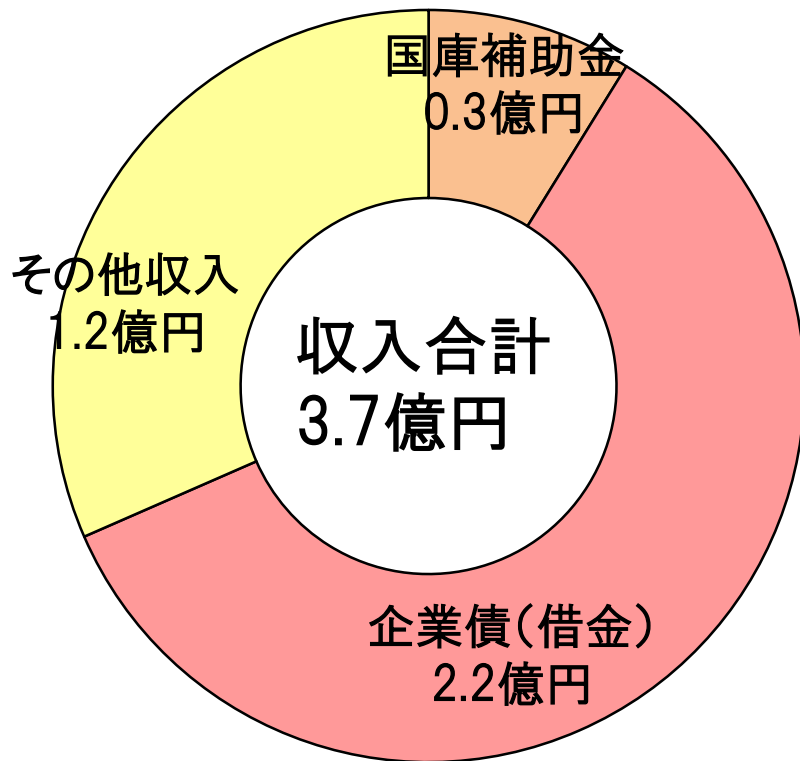
◇平成28年度予算

【収益的収入及び支出】



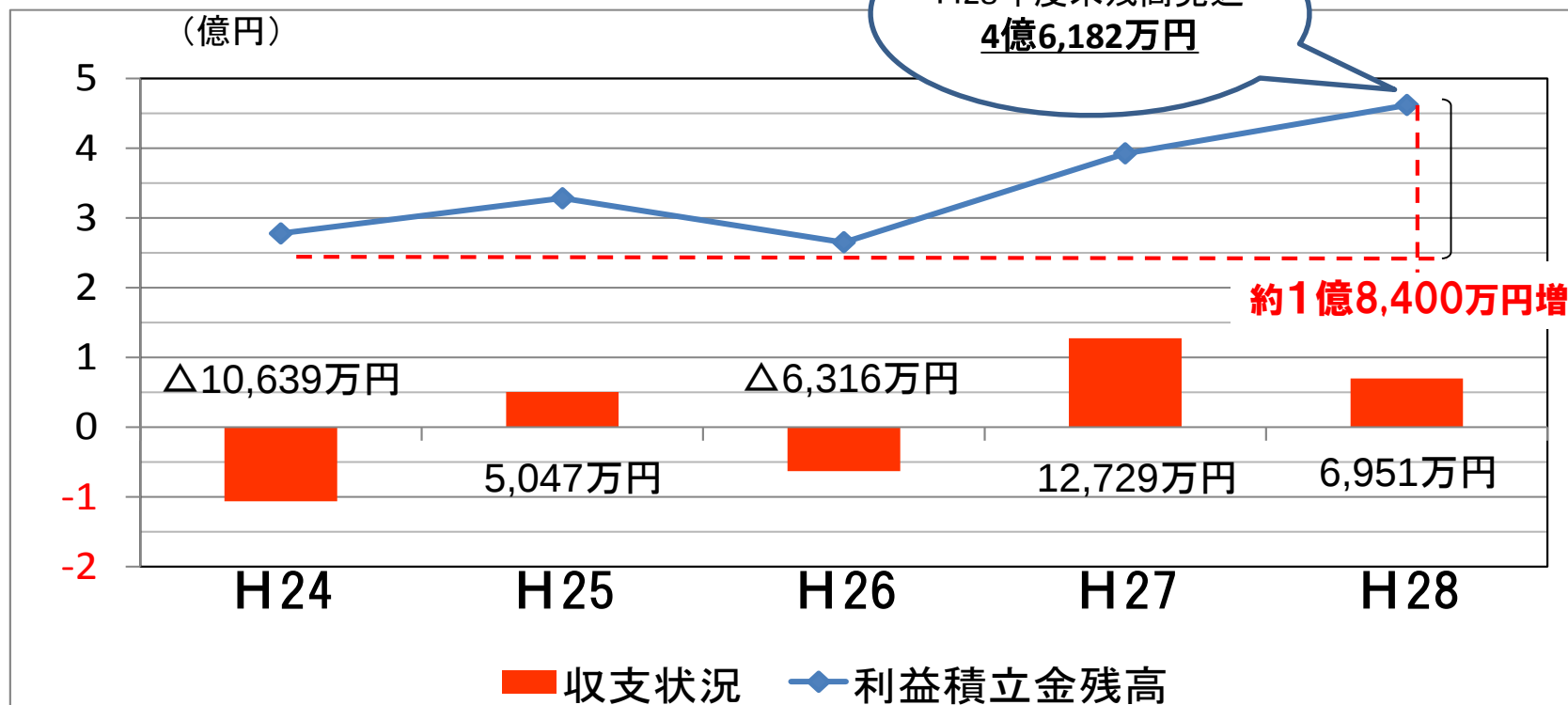
約6,951万円の純利益を見込む

【資本的収入及び支出】



※収支不足額の約5.4億円は内部留保資金で補填

【利益積立金残高の推移】



【今後の見通し】

給水収益は減少傾向だが、高料金対策経費に係る一般会計繰入金が同水準で推移するならば、今後数年間は一定程度の利益積立が可能。

◇石狩市水道事業中期経営計画について

中期経営計画とは？

水道ビジョンの方策に基づき、「市民のための水道」を実現させるため、経営の取組や収支見通しを明らかにすることを目的として、計画期間を4年間として策定。

策定状況

第1期 平成21～24年度

第2期 平成25～28年度（現計画）

3. 平成28年度の 審議案件について

◎石狩市水道事業経営戦略の策定

経営戦略とは？

公営企業が将来にわたり安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画。

○高料金対策経費に係る繰出についての
交付税措置要件（一般会計）

○H28年度中の策定が必要

これまでの中期経営計画（～H28）の代替計画として位置づけ。

◎収支見通しと水道料金

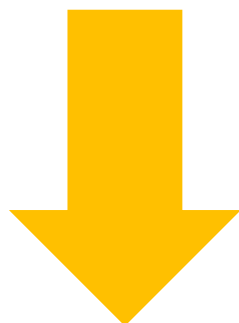
- 高料金対策経費に係る繰入の大幅増など、H25料金改定時の見込みより収支状況が好転している。
- 計画的な施設処分を進めるとともに、将来的な収支不足が見込まれる中、安定的な事業運営を継続していくためには、一定程度の蓄え（利益積立）も必要。



平成25年の料金改定後、概ね4年に1度の見直しの時期となるため、経営戦略の策定とあわせて料金見直し作業を進める。

審議スケジュール等について(案)

H28. 8 経営戦略の策定（料金見直し）
諮問・審議



市民参加手続
（パブコメ）
についても平
行して実施

H28. 経営戦略の策定（料金見直し）
審議・答申